

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：医療整備課
 担当名：看護・医療人材担当
 内線：3543 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B32	高度・専門分野における看護師育成推進事業費			一般会計	衛生費	医薬費	保健師等指導管理費	看護指導費		
事業期間	平成19年度～	根拠法令	がん対策基本法、看護師等の人材確保の促進に関する法律、精神保健福祉法	戦略項目		03	医療の安心			
				分野施策		010303	医師・看護師確保対策の推進			
1 事業の概要 少子高齢化への課題が大きい本県にとって、当該医療現場に従事する看護職の養成確保のみならず、その資質向上は急務である。 そのため、それぞれの現場において熟練した知識・技術を備え、指導的役割を担う看護職員の確保と育成を推進し、医療提供体制の整備・充実を図る。 (2) 認定看護師教育機関支援事業 △1,274千円 補助対象施設における研修受講者が当初の見込みを下回ったため (3) 在宅・高齢者医療における看護師育成支援事業 △2,297千円 医療機関に対する補助額が見込みを下回ったため				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 高度・専門分野の看護師資質向上支援事業 10,974千円 (ア) 看護職のための緩和ケア研修会の実施 緩和ケアの知識、技術を習得した看護職を養成するための研修を実施(20人×5日間×2回) (イ) 県内医療機関に認定看護師を派遣し、専門的な看護技術の普及活動を実施(110回) (ウ) 在宅・高齢者医療にかかる分野の認定看護師教育機関に入学した看護師を対象に資格取得支援を実施(15人) イ 認定看護師教育機関支援事業 5,910千円→4,636千円 水準の高い認定看護師養成を促進するため、認定看護師教育機関に対して補助を行う(2課程定員60人) ウ 在宅・高齢者医療における看護師育成支援事業 9,830千円→7,533千円 在宅・高齢者医療に係る分野の認定看護師教育機関に看護師を派遣する医療機関へ支援をする(10人) エ 助産師出向支援導入事業 2,118千円 助産師就業の偏在是正、助産実践能力の強化、助産における実習施設確保を図り、周産期医療提供体制の整備充実を図る。 (2) 事業計画 少子高齢化に係る医療現場において熟練した知識・技術を備え、指導的役割を担う看護師の育成と確保を推進し、県内の高度・専門的な医療提供体制の整備を図るために、継続する。 (3) 事業効果 認定看護師やそれに準ずる実践能力のある看護師の養成促進及び認定看護師の有効活用によって、県内の看護レベルの向上が期待される。また、認定看護師教育機関では研修環境の向上が期待される。 【県内認定看護師数】 平成25年度442人 平成26年度498人 平成27年度562人 (4) 補正予算の概要 イ 認定看護師教育機関支援事業：定員数に満たなかったことによる減額。 ウ 在宅・高齢者医療における看護師育成支援事業：定員数に満たなかったことによる減額。						
2 事業主体及び負担区分 (1)、(2)、(3) (県10/10) (4) (国10/10・県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金							
決定額	△3,571		△3,571					0	25,261	
現計額	28,832	2,118	26,714					0		